

みえ労連

zenroren

2018年7月 第59号

三重県労働組合総連合

〒514-0015 三重県津市寿町7-50 みえ平和と労働会館

TEL 059-223-2615 FAX 059-223-4495

http://mieroren.labor.net.jp/

みえ労連2018憲法キャラバン事前アンケート結果

「安倍改憲」や「高プロ」などに懸念の声が聞かれる。

「現政権は国民の恥」「官僚に言わせているのは誰か」など怒りに満ちたコメントも。～全ての自治体首長さんから回答をいただきました～

みえ労連が実施する第11回憲法キャラバンは、毎年事前アンケート結果を共通のテーブルとして「要求・交渉」ではなく、「対話・共同」の運動として取り組んでいます。

1. 調査の目的

今年も春の春闘要請に続けて、憲法キャラバンで事前アンケートの依頼・回答結果をまとめ、

7月初旬より、三重県内29の市町と三重県を訪れて自治体当局との懇談を行います。今回の事前アンケートは、いのち（憲法25条）と平和（憲法9条）を具体化したアンケートです。

（調査項目によっては例年通り、首長さんを特定せず「無記名扱い」とさせていただきます）

2. 調査対象・回収

三重県内30自治体の首長に依頼し、全員から回収

3. 調査期間 2018年5月15日～5月31日



記者会見でアンケート結果を発表
6月19日 県庁記者クラブ

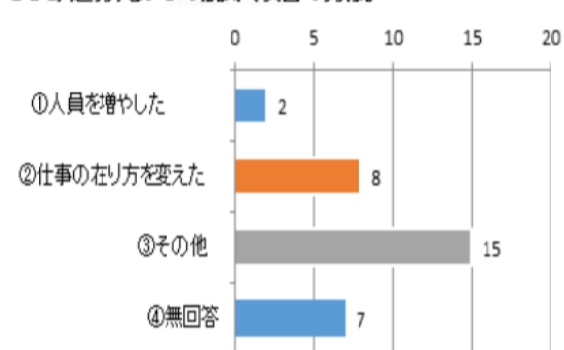


時間外労働

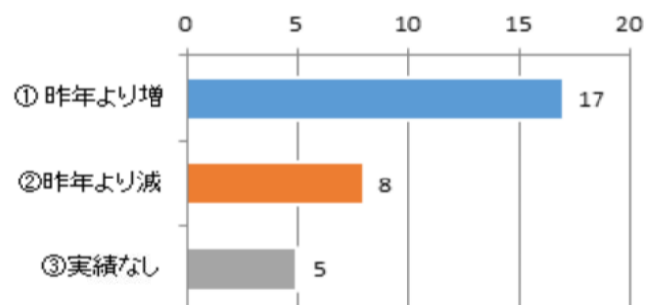
「過労死ラインからの脱却」道半ば

昨年アンケートでお聞きしました「過労死ラインからの脱却」について、貴自治体の結果はどうでしたか？

1-1-1) 過労死からの脱却(改善の方法)



「過労死ラインからの脱却」昨年度との比較



県内自治体職員の時間外労働の実態

- ・月平均80時間 24自治体で1297人(昨年1240人)
- ・月100時間 23自治体で681人(昨年685人)

昨年アンケートで20自治体が「過労死ラインの脱却をめざす」と回答しましたが、実績は逆に「過労死ラインを超えて」働く職員が増えていました。国会で「働き方改革」が審議されており「過労死ライン脱却は道半ば」と言わざるを得ません。改善の方法として、2自治体が「人員増」、8自治体が「仕事の見直し」をあげています。

過労死ライン脱却が困難だった主な職種は、「事務職」を13首長があげ、選挙、税務事務との理由も記載されています。「技術職」も土木職、施設維持、災害との理由があげられています。

病院関係では、「医師」と4首長が記載しており、医師の過重労働に拍車がかかっています。



労基法改正

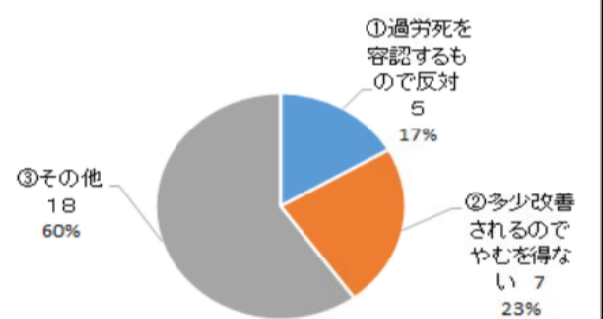
時間外100時間/月容認の労基法改正は、意見が分かれる

時間外労働を100時間/月まで容認する方向が出されていますが、どう思われますか？

政府の労基法改正論議の「月100時間容認」検討について、5首長が明確に「反対」、7首長が「多少改善されるのでやむを得ない」、18首長が「その他」との回答がありました。

その他の回答の中で、9首長が「時間外縮減、健康管理、過重労働縮減に言及」、6首長が「国の動向注視する、回答差し控える」、1首長が「過労死につながることを懸念する」との回答でした。

時間外、月100時間まで容認



残業代ゼロ法案

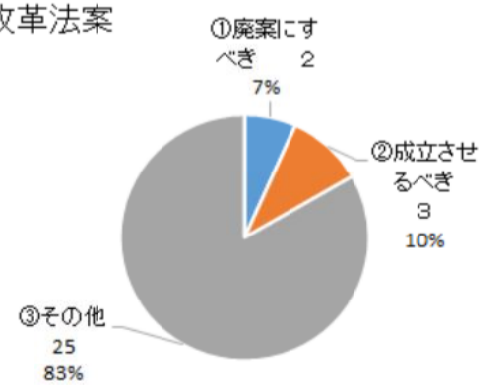
「残業代ゼロ法案」明確な賛否は少数、懸念が10首長、7首長が「回答を控える」

国会へ提案されている「高度プロフェSSIONAL制度(いわゆる残業代ゼロ法案)」などの「働き方改革法案」について、どう思われますか？

「残業代ゼロ法案」について聞いたところ、2首長が「廃案にすべき」、3首長が「成立させるべき」との結果でした。

回答のうち25首長が「その他」だったため、回答結果を分類すると以下のような結果でした。4首長が「公務職場になじまない」、3首長が「国会で十分議論を」、2首長が「長時間労働、過労死に繋がることを懸念」、1首長が「強行採決はいかなものか」、7首長が「回答を差し控える、注視する」との意見でした。そのほか「臨時的な特別の理由がある場合の上限」と台風等の緊急時に指揮をとる住民行政トップの立場からの回答が見られました。

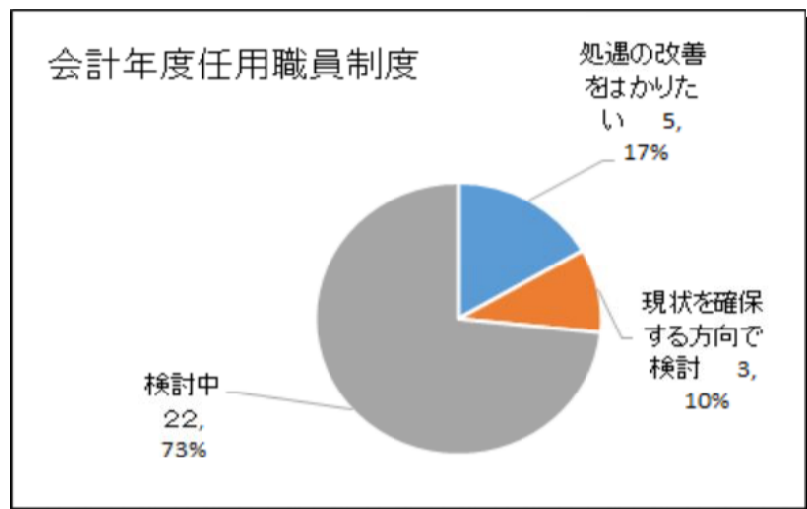
働き方改革法案



非正規職員

処遇改善の流れが見えてきた

「会計年度任用職員制度」の導入により、非正規職員に「期末手当の支給」が可能となりますが、どう対応されますか。

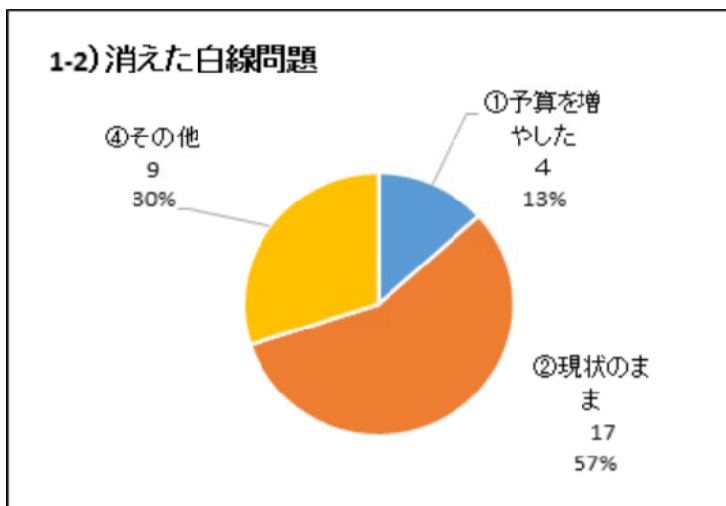


法改正を受けて、非正規職員の2020年度への対応の設問です。「会計年度任用職員制度」への対応に関わって、「期末手当の支給」にしばって聞きました。8つの首長が「処遇の改善をはかりたい」「現状を確保する」と回答し、「期末手当」の付与による処遇改善の流れが見えてきたといえます。

しかし、財源保障のない法改正への対応の難しさが「その他」22との回答に表れていると言えます。

消えた白線

予算増額4自治体 横断歩道での事故続く



昨年アンケートでお聞きした「消えた白線問題」は、大きな反響を呼びましたが、その後、貴自治体ではどのように対処・検討されましたか？

みえ労連は、昨年「白線アンケート」を組合員関係者対象に実施（304枚回収）、春闘で県内大企業・商工会議所へ報告、憲法キャラバンで全自治体へ要請、国土交通省・県警公安委員会へ要請と世論を喚起しました。

本年2/21中日新聞では「県警 横断歩道など改修急ぐ」と報道され、ささやかでも役割を果たせたかなと思います。昨年県内で横断歩道上の事故で5人が死亡、142人が負傷するなど県民全体の命に関わる問題です（県警発表）。

昨年に続く「消えた白線問題」の設問で、「予算を増やした」自治体は4、「現状のまま」17でした。「その他」の回答で、「通学路を優先に」「その都度対応」などの記述が見受けられます。

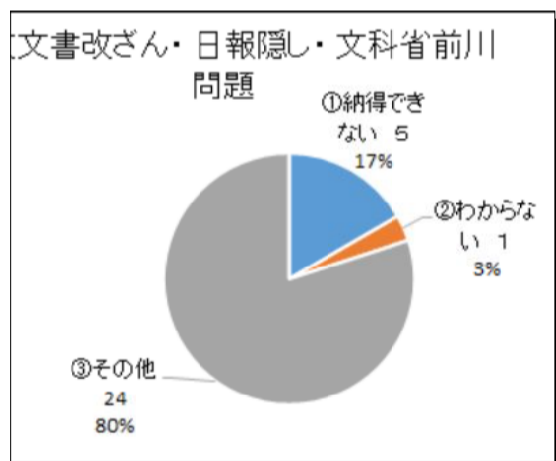


みえ労連役員と三重県警察本部との懇談
2017年9月22日

文書改ざんなど

18首長が文書改ざん・日報隠し等に批判的見解

財務省(森友文書改ざん・セクハラ)・防衛相(日報隠し)・文科省(前川講師問題)など国の機関が、公文書改ざん、隠ぺい、地方への介入など行政への信頼を大きく傷つけています。貴職はどう思われますか？



混乱の続く国の「文書改ざん・日報隠し・自治体介入」を聞きました。5首長が「納得できない」、1首長が「わからない」、24首長が「その他」でした。

「納得できない」の首長から、「現政権は国民の恥だ」「誰が官僚に言わせているかが本筋」「全て真実を明らかに」など怒りに満ちたコメントがありました。

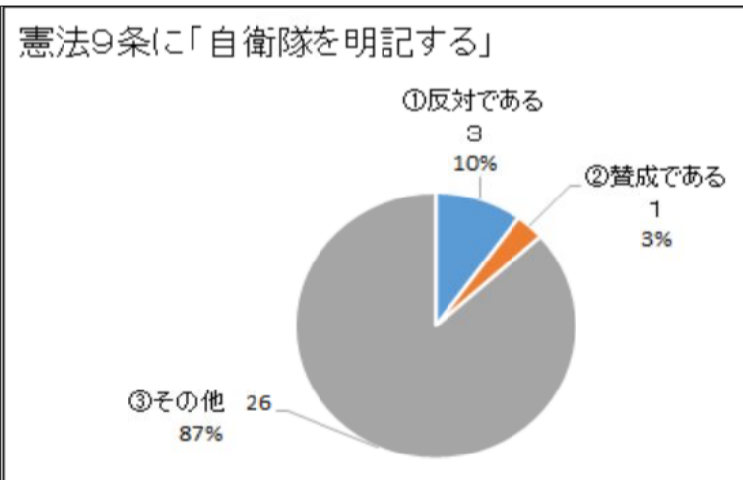
「その他」の回答の中でも、6首長から「国民からの信頼回復のため説明責任を」、5首長から「公務員の信頼を失うことは避けて欲しい」、2首長から「公文書管理のマニュアルを」とあり、8首長は「コメント差し控える」との回答で、全体で18首長が批判的な見解でした。



9条改憲

「反対」「平和を大切に 憲法の理念を堅持」「十分に論議を」が15首長と半数

安倍内閣のもとで、憲法9条に「自衛隊を明記する」自民党改憲案がまとまり、憲法審査会での論議を進めようとしています。貴職はどう思われますか？



安倍内閣のもとでの憲法9条への「自衛隊明記」改憲について聞きました。明確な「反対」は3首長、「賛成」1首長、「その他」は26首長でした。

「反対」の首長さんは「憲法は権力を縛るもの、国民を縛るものではない、権力の強化につながる自民党案に反対」「今日あるのは憲法9条によるもの、悲惨な戦争体験は未来へのメッセージ」「今の内閣ではまともな議論は期待できない」と明言されていました。

「その他」の意見では、6首長から「国民全体で十分に議論を、国会の動きを注視している」、6首長から「平和主義を体現する憲法第9条の理念を堅持して欲しい」「憲法の基本原則の普遍的価値を忘れることなく」などの意見が出され、「改憲賛成」の1首長の積極的コメントはありませんでした。なお、8首長から「コメントは控えさせていただく」との答えがありました。